

飼料米の作付け面積について  
は、令和6年約264ヘクタ  
ルから令和7年は約136ヘ  
クタールと大きく減少してい  
ることから、主食米への転換  
が進んでいることが確認でき  
ており、来年度もこの傾向の  
継続が想定される。このため  
本市における主食米は現状の  
需要に応じて増えている。

国家貿易なら残留農薬検査を  
義務付けていたが、民間貿易  
の検査義務はない。国産米高  
騰を受けて輸入米が増えてい  
る。市民への影響について問  
う。

問　国では輸入食品に対して  
食品衛生法に基づき基準値を  
超えるものは一切国内流通し  
ない仕組みである。

問　地域農業は多くの関連の  
作業があり地域・社会・食の  
安全・伝統文化・治水機能・  
祭りも運命共同体だ。根本は  
生産が必要を下回っている結  
果だ。米農家の未来はあるか  
問う。



問　国内スーパーに並ぶ輸入  
米5点の残留農薬の自主検査  
でベトナム産、台湾産などか  
ら国内未認可を含む残留農薬  
が検出された。厚労省は流通  
上の問題はないと言うが、ベ  
トナム産で検出された殺虫成  
分・殺菌成分は国内では認め  
られてない。米の輸入の場合、

## 新型コロナワクチン 関連について

問　最近、体調不良・肩が痛  
ます。

答　集落を支えてきたコミュニ  
ティの仕組みが弱る危機感  
は持っている。人が減つてい  
く中でこれまでと同じ面積、  
農地を守っていくには経営規  
模の拡大が必要になってくる。  
大規模農家、小規模農家が営  
農を続けられる環境づくりに  
取り組んでいる。

### ■ 議会報告会の開催について

報告会の内容は、初めに議  
会の報告を行い、その後、皆  
さんの意見交換会の時間と  
する予定です。

皆さんの貴重なご意見をお  
伺いいたしました、多くの皆さ  
んのご参加をお待ちしていま  
す。

皆様からのご意見やご提言  
は議員一同、今後の議会活動  
に生かしていく所存であります  
ので、今後ともご指導ご鞭  
撻のほどよろしくお願ひいた  
します。

宿毛市議会では、宿毛市議  
会基本条例に基づき、当該任  
期中に次期の任期の議員定数  
等について、検証を行うこと  
としており、このほど議会の  
果たすべき役割を踏まえ、類  
似団体や県内他市との比較調  
査も踏まえ、検討を行った結  
果、現状維持（14人）とする  
ことといたしました。

### ■ 議員定数の検討について

